

# KENWOOD

## U400BT

MP3/WMA/AAC/WAV 対応 CD レシーバー

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



#### My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました商品を「ご愛用商品登録」していただくと、ご使用いただいている商品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意 (しなければならない)の内容です。



禁止 (してはいけない)の内容です。



実行 (かならず行っていただく)の内容です。

## 取り付けや配線について



**警告**



本機はDC12V $\ominus$ アース車以外で使用しない  
火災や故障の原因になります。DC24V車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

**エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてはいけない**

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

**取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない**

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

**視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。



**取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で、誤った取り付けや配線をするとうちに重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

**説明書に従って取り付け・配線をする**

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。



**作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す**

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

**作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

**必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**  
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。



**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



**注意**



**自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



**直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**機器の通風口や放熱板をふさがない**

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 使用方法について

### 警告



#### 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るの**は絶対におやめ**ください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



#### 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

#### 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

#### 故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、**ただちに使用を中止**してください。事故や火災、感電の原因となります。

#### 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



#### 雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



#### ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口**に依頼**してください。

### 注意



#### 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

#### 使用中または使用直後は放熱器にふれない

本機の使用**中**または使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。本機を取り外すときは、**直接触れることはお止め**ください。やけどをする場合があります。



#### 可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時には**ご注意ください**。けがの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

### 警告



#### 異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口**に相談**する

そのまま使用すると、**思わぬ事故や火災、感電の原因**となります。

# 使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

## 異常にお気づきのときは(リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(⇒22)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネル」(⇒9)を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押ししてください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへ相談してください。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタン(⇒9)を押してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

## 機器の保管について

USB機器、iPhone/iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPhone/iPodが変形や故障する場合があります。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、音源を"STANDBY"に切り替えてください。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## パネルと本機の端子について

操作パネルと本体間のコネクター端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネルおよび本体のコネクター端子を柔らかい布で軽く拭いてください。



コネクター

## 使用上のご注意

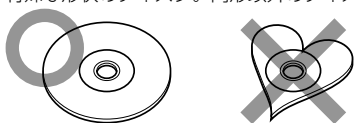
### ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

### 使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。円形以外のディスクは、故障の原因になります。



- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

-  マークのないディスク。  
正しく再生されない可能性があります。

- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。  
お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

### 表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

### 使用できるリモコンについて

本機は、リモコンが使用できます。使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 使用上のご注意

### 電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS変調方式を表します。
- 1 : 電波と干渉距離は10mです。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

# もくじ

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 安全上のご注意（必ずお守りください）      | 2  |
| 使用上のご注意                 | 5  |
| 基本操作                    | 9  |
| はじめに                    | 10 |
| ラジオを聞く                  | 11 |
| CD/USB/iPod/Android を聞く | 12 |
| Bluetooth® 機器を使う        | 14 |
| 外部接続機器を聞く               | 19 |
| 音質を設定する                 | 20 |
| ディスプレイ表示を設定する           | 21 |
| 故障かな？と思ったら              | 22 |
| その他の情報                  | 24 |
| 保証とアフターサービス（必ずお読みください）  | 25 |
| 配線・取り付け                 | 26 |
| 仕様                      | 28 |

## この取扱説明書の見方

- 操作は操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- リモコンを使って行う操作は、別売品のリモコン (KCA-RC406) をお求めください。
- (➡ XX) は、本文中の参照ページを示しています。

## 交通情報を聞く

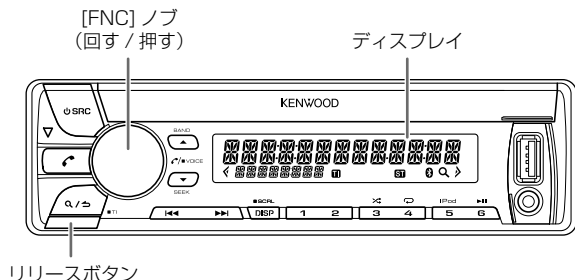
[ Q / ㄣ ] を押し続けると、交通情報を受信します。  
交通情報受信中は TI 表示が点灯します。

- もう 1 度 [ Q / ㄣ ] を押し続けると、前の状態に戻ります。
- 交通情報を受信中に [ ◀▶ ] を押しすと、受信周波数が 522 kHz、1,620 kHz または 1,629 kHz に切り替わります。
- 交通情報を受信中に音量を調節すると、その音量が自動的に記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。
- 本機のコントロールモードで "MODE ON" が選ばれているときは、交通情報が終了しても iPod の再生は自動的に始まりません。再生を始めるには、[ ▶|| ] を押してください。



# 基本操作

## 操作パネル

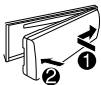


## リモコン (KCA-RC406、別売品)

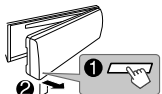
本機は、別売品のリモコンでも操作できます。



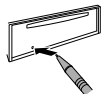
### 取り付ける



### 取り外す



### リセットをする



リセットをすると、登録した設定も消去されます。

## 動作

## 操作パネル

## リモコン

### 電源をオン / オフする

- [ **SRC** ] を押す
- ・押し続けると電源がオフになります。

- [ **SRC** ] を押し続け、電源をオフにする ([ **SRC** ] を押しても電源はオンになりません。)

### 音量を調節する

- [ **FNC** ] ノブを回す

- [ **VOL**  $\wedge$  ] または [ **VOL**  $\vee$  ] を押す

- 再生中に [ **ATT** ] を押して、一時的に音を小さくします。
- ・もう 1 度押すと、元の音量に戻ります。

### 音源を切り替える

- [ **SRC** ] をくり返し押す

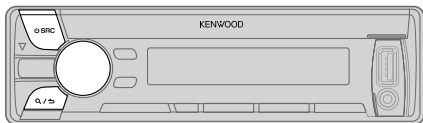
- [ **SRC** ] をくり返し押す

### ディスプレイの表示を変更する

- [ **DISP SCRL** ] をくり返し押す
- ・押し続けると、現在表示中の情報がスクロールします。

- (利用できません)

# はじめに



初期設定: **XX**

## 1 時計を調整する

- 1 [FNC] ノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 [FNC] ノブを回して“CLOCK”を選び、[FNC] ノブを押す
- 3 [FNC] ノブを回して“CLOCK ADJUST”を選び、[FNC] ノブを押す
- 4 [FNC] ノブを使い以下の順番で時計を合わせる  
「日」→「時」→「分」（回して選択、押して確定）
- 5 [FNC] ノブを回して“CLOCK FORMAT”を選び、[FNC] ノブを押す
- 6 [FNC] ノブを回して“12H”または“24H”を選び、  
[FNC] ノブを押す

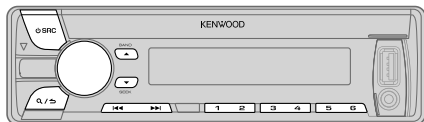
[Q/△] を押すと、前の設定項目に戻ります。

## 2 初期設定をする

- 1 [∪ SRC] をくり返し押して“STANDBY”を選ぶ
  - 2 [FNC] ノブを押して“FUNCTION”モードに入る
  - 3 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、  
[FNC] ノブを押す（右表参照）
  - 4 手順3 をくり返し、項目を選び、設定する
- [Q/△] を押すと、前の設定項目に戻ります。

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <b>AUDIO CONTROL</b>           |  |
| <b>SWITCH PREOUT</b>           | <b>REAR/SUBWOOFER:</b> 背面の LINE OUT(ライン出力)端子に(外部アンプを通して)リアスピーカーまたはサブウーファーを接続します。   |
| <b>DISPLAY</b>                 |  |
| <b>EASY MENU</b>               | <b>ON:</b> “FUNCTION”(機能)設定中は、ディスプレイとボタンのイルミネーション色が白色に変わります。 <b>OFF:</b> ディスプレイとボタンのイルミネーション色が“COLOR SELECT”の色のまま、変わりません(→21)。   |
| <b>TUNER SETTING</b>           |  |
| <b>PRESET TYPE</b>             | <b>NORMAL:</b> 各バンド別に、6つの放送局を登録できます。 <b>MIX:</b> 全バンド共通の6つの放送局を登録できます。   |
| <b>SYSTEM</b>                  |  |
| <b>KEY BEEP</b>                | <b>ON:</b> 操作時のピープ音をオンにします。 <b>OFF:</b> この機能を使いません。  |
| <b>SOURCE SELECT</b>           |  |
| <b>BUILT-IN AUX</b>            | <b>ON:</b> AUX(外部機器)を音源として選べるようになります。 <b>OFF:</b> この機能を使いません(→19)。   |
| <b>CD READ</b>                 | 1: 自動的にオーディオファイルのディスクと音楽CDを識別します。<br>2: 音楽CDを再生します。オーディオファイルのディスクが再生されたときは、音は出ません。   |
| <b>F/W UPDATE</b>              |  |
| <b>UPDATE SYSTEM/UPDATE BT</b> |  |
| <b>F/W UP xx.xx</b>            | <b>YES:</b> ファームウェアのアップグレードを開始します。 <b>NO:</b> キャンセルします(アップグレードが実行されません)。<br>ファームウェアのアップデートに関しては、下記 URL をご覧ください:<br><a href="http://www2.jvckenwood.com/cs/car/">http://www2.jvckenwood.com/cs/car/</a> |
| <b>CLOCK</b>                   |  |
| <b>CLOCK DISPLAY</b>           | <b>ON:</b> 本機がオフのときでも、時計を表示します。 <b>OFF:</b> この機能を使いません。  |

# ラジオを聞く



## 放送局を探す

- 1 [ **SRC** ] をくり返し押しして “TUNER” を選ぶ
- 2 [ **▲ BAND** ] (またはリモコンの [ **#FM+ / \*AM-** ]) を押しして、“FM1/FM2/AM1/AM2” を選ぶ
- 3 [ **◀/▶** ] (またはリモコンの [ **◀/▶ (+)** ]) を押しして、放送局を探す
  - [ **◀/▶** ] を使ったの放送局の探し方を変えるには、[ **▼ SEEK** ] をくり返し押します。
    - “AUTO1” : 放送局を自動的に受信します。
    - “AUTO2” : 登録されている放送局を順番に受信します。
    - “MANUAL” : 1 ステップずつ周波数が変わります。
  - 放送局を登録するには、登録したい数字ボタン [ **1** ] ~ [ **6** ] を押し続けます。
  - 登録した放送局を受信するには、登録したい数字ボタン ([ **1** ] ~ [ **6** ]) を押します。

## 放送局の周波数で選局する (リモコンのみ)

- 1 [ **DIRECT** ] を押し  
周波数入力が可能になります。
- 2 数字ボタン [ **1** ] ~ [ **6** ] を押し、周波数を入力する
- 3 [ **ENT ▶▶** ] を押し、選局する
  - キャンセルするには、[ **↵** ] または [ **DIRECT** ] を押します。
  - 手順 **2** で周波数入力後 10 秒以上経過すると、周波数入力は自動的にキャンセルされます。

## その他の設定

- 1 [FNC] ノブを押しして “FUNCTION” モードに入る
- 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す (下表参照)
- 3 手順 **2** をくり返し、項目を選び、設定する  
[ **Q/△** ] を押すと、前の設定項目に戻ります。

初期設定: **XX**

### TUNER SETTING

|                    |   |
|--------------------|---|
| <b>AUTO MEMORY</b> | <b>YES</b> : 受信状態の良い放送局を自動的に 6 局登録します。<br><b>NO</b> : この機能を使いません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• “PRESET TYPE” で “NORMAL” が選ばれているときのみこの機能が利用できます ( ➡ 10 )。</li></ul> |
| <b>MONO SET</b>    | <b>ON</b> : ステレオ音声ではなくなりますが、受信状態が改善されます。 <b>OFF</b> : この機能を使いません。   |

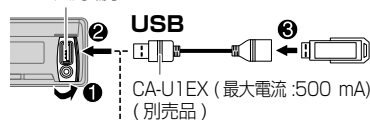
# CD/USB/iPod/Android を聞く

## 再生する

自動的に音源が切り替わり、再生します。  
タイトル面を上 [▲] (ディスク取り出し) にする ボタン



## USB 入力端子



### USB

CA-U1EX (最大電流:500 mA)  
(別売品)

### iPod/iPhone

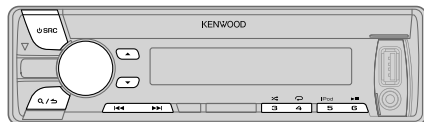
iPod/iPhone の  
KCA-iP102、KCA-  
iP103 (別売品)\*1 または  
アクセサリケーブル \*2

### Android\*3

マイクロ USB 2.0  
ケーブル \*2  
(市販品)

\*1 KCA-iP102: iPod 用インターフェースケーブル、KCA-iP103: Lightning-USB ケーブル

\*2 ケーブルは、車内に放置しないでください。



| 動作                                    | 操作パネル  | リモコン                |
|---------------------------------------|--|---------------------|
| 再生 / 一時停止をする                          | [ 6▶   ] を押す   | [ ENT▶   ] を押す      |
| 早戻し / 早送りをする *4                       | [◀◀/▶▶] を押し続ける   | [◀◀/▶▶(+)] を押し続ける。  |
| 曲 / ファイルを選ぶ                           | [◀◀/▶▶] を押す  | [◀◀/▶▶(+)] を押す      |
| フォルダを選ぶ *5                            | [▲/▼] を押す  | [ #FM+ / *AM- ] を押す |
| リピート再生をする *6                          | [ 4↺ ] をくり返し押す<br>TRACK REPEAT/REPEAT OFF : 音楽 CD 再生時<br>FILE REPEAT/FOLDER REPEAT/REPEAT OFF : MP3/WMA/AAC/WAV ファイル、iPod または Android 再生時<br>FILE REPEAT/REPEAT OFF : KME Light/KMC ファイル再生時 *7 |                     |
| ランダム再生をする *6                          | [ 3↻ ] をくり返し押す<br>DISC RANDOM/RANDOM OFF : 音楽 CD 再生時<br>FOLDER RANDOM/RANDOM OFF : MP3/WMA/AAC/WAV ファイル再生時、KME Light/KMC ファイル、iPod/Android 再生時<br>“ALL RANDOM” *8 を選ぶときは [ 3↻ ] を押し続ける         |                     |
| 操作モードを選ぶ                              | 音源が iPod のときに、[ 5 iPod ] をくり返し押す。<br>MODE ON : iPod を iPod 自身で操作します *9。<br>MODE OFF : iPod を本機から操作できます。<br>• Android 機器をご使用のときは、“ANDROID SETUP”(▶ 13) をご覧ください。                                 |                     |
| MUSIC DRIVE を選ぶ (▶ 13, “MUSIC DRIVE”) | [ 5 iPod ] をくり返し押す<br>以下に保存されている曲の再生が始まります。<br>• スマートフォンの内部や外部メモリ (マストレージクラス) 中の曲 / ファイル<br>• マルチドライブ機器の選ばれたドライブ   |                     |

## CD/USB/iPod/Android を聞く

- \*3 Androidを接続すると、“Press [VIEW] to install KENWOOD MUSIC PLAY APP”と表示されます。表示される指示に従ってアプリケーションをインストールしてください。接続前にKENWOOD MUSIC PLAYの最新バージョンをインストールすることもできます(➔24)。
- \*4 Androidは、“BROWSE MODE”を選んでいるときのみ使えます(➔「ANDROID SETUP」)。
- \*5 CDは、MP3/WMA/AACファイルのみ使えます。iPod/Androidには使えません。
- \*6 音源がiPod/Androidの場合は、“MODE OFF/BROWSE MODE”が選ばれているときのみ使えます。
- \*7 KME Light : KENWOOD Music Editor Light, KMC : KENWOOD Music Control (➔24)
- \*8 CDは、MP3/WMA/AACファイルのみ使えます。
- \*9 本機から再生/一時停止、ファイルの選択、早送り、早戻しをすることができます。

### フォルダ / リストからファイルを選ぶ

- 1 [Q/△] を押す
- 2 [FNC] ノブを回してフォルダ / リストを選び、[FNC] ノブを押す
- 3 [FNC] ノブを回してファイルを選び、[FNC] ノブを押す

#### クイックサーチ

ファイルが多数あるときでも、簡単にファイルを検索できます。

USB 内の KME Light/KMC ファイル の場合 :

- [◀◀/▶▶] を押すとあらかじめ設定された速さで検索ができます(➔「SKIP SEARCH」)。
- [◀◀/▶▶] を押し続けると、10%の速さで検索ができます。
- CDまたはMP3/WMA/AAC/WAVファイルでは使えません。

iPod の場合 :

ファイルの頭文字で検索できます。

- 1 [FNC]ノブを1度素早く回す  
頭文字検索ができようになります。
- 2 [FNC]ノブを回して文字を選ぶ  
検索するファイルの頭文字がA～Z、0～9以外のときは、“\*”を入力します。
- 3 [◀◀/▶▶] を押して、入力的位置を移動する  
頭文字から3文字まで入力できます。
- 4 [FNC]ノブを押して検索する

- ルートフォルダ/最初のファイル/トップメニューに戻るには、[5 iPod] を押します。
- [Q/△] を押すと、前の設定項目に戻ります。
- iPodの場合は、“MODE OFF”を選んだときのみ使えます(➔12)。
- Androidの場合は、“BROWSE MODE”を選んだときのみ使用できます(➔「ANDROID SETUP」)。

### 曲番号 / ファイル番号で探す (リモコンのみ)

- 1 [DIRECT] を押す
- 2 数字のボタンを押して、曲番号 / ファイル番号を入力する
- 3 [ENT▶▶] を押して、検索をする

- キャンセルするには、[△] または [DIRECT] を押します。
- ランダム再生中は、この機能は使えません。
- 音源が以下のファイルのときは、この機能は使えません。  
iPod/Android/KME Light/KMC

### Tuneln Radio/Tuneln Radio Pro/Aupeo を聞く

iPod または iPhone で Tuneln Radio/Tuneln Radio Pro/Aupeo を聞いているときに、本機のUSB入力端子に接続すると本機に接続したスピーカーから音を出すことができます。

### その他の設定

- 1 [FNC] ノブを押して“FUNCTION”モードに入る
  - 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す(下参照)
  - 3 手順2をくり返し、項目を選び、設定する
- [Q/△] を押すと、前の設定項目に戻ります。

初期設定 : **XX**

#### ANDROID SETUP

**BROWSE MODE** : 本機からKENWOOD MUSIC PLAYを使いAndroidを操作します **HAND MODE** : AndroidからKENWOOD MUSIC PLAYを使わずにAndroidのその他のメディアプレーヤーを操作します。再生/一時停止、曲やファイルの選択は本機から可能です。

#### USB

**MUSIC DRIVE** **DRIVE CHANGE** : 再生するドライブ (“DRIVE 1” ~ “DRIVE 5”) を選択します。目的のドライブに変更するには手順1 ~ 手順3をくり返します。

**SKIP SEARCH** **0.5%/1%/5%/10%** : iPod/Android/KME Light/KMCファイル再生中のスキップ検索の速さを選びます。総ファイル数から割り出し、速さを%で示します。

# Bluetooth® 機器を使う

## Bluetooth — 接続

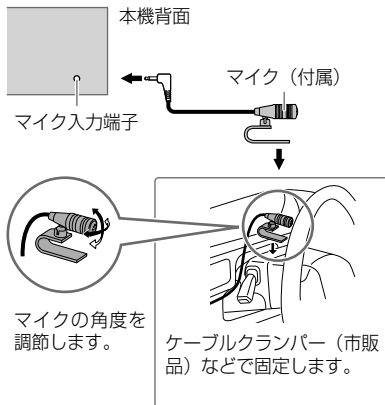
### 対応している Bluetooth のプロファイル

- Hands-Free Profile (HFP)
- Serial Port Profile (SPP)
- Phonebook Access Profile (PBAP)
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)

### 対応している Bluetooth のコーデック

- Sub Band Codec (SBC)
- Advanced Audio Coding (AAC)
- aptX Codec (aptX)

## マイクを接続する



## Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) する

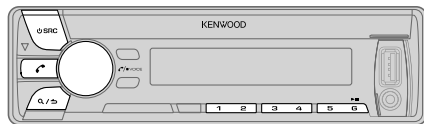
初めて本機と Bluetooth 機器を接続するときは、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。

- 1 [ **⏻SRC** ] を押して、本機の電源をオンにする
- 2 Bluetooth 機器で本機名称 (U4\*\*BT) を探して選ぶ  
"PAIRING" → "PASS XXXXXX" → 機器名 → "PRESS" → "VOLUME KNOB" と本機ディスプレイ上でメッセージが表示されます。
  - Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力する必要があります。
  - 詳しくはお使いの Bluetooth 機器の説明書をご覧ください。
- 3 [ **FNC** ] ノブを押して、ペアリングを開始する  
ペアリングが終わると "PAIRING OK" と表示され、接続されると **Ⓜ** が点灯します。

- 合計 5 機まで登録 (ペアリング) できます。
- 接続は 1 台の Bluetooth 機器のみ可能です。
- 本機は Secure Simple Pairing (SSP) に対応しています。
- Bluetooth 機器によっては、ペアリング後、自動的に本機に接続されない場合があります。接続されない場合は、手動で機器を接続してください。詳しくはお使いの Bluetooth 機器の説明書をご覧ください。
- 本機をリセットしても、1 度ペアリングをすると、Bluetooth 機器は登録されたままになります。登録された機器を削除するには、(➡ 18), "DEVICE DELETE"。
- iPhone/iPod touch/Android 機器を USB 入力端子に接続すると、自動的にペアリングが始まります。機器名を確認後、[ **FNC** ] ノブを押してペアリングをしてください。ペアリングは次のような場合に要求されます。
  - 接続された機器の Bluetooth 機能がオンになっているとき
  - "AUTO PAIRING" が "ON" になっているとき (➡ 18)
  - 接続された Android 機器に KENWOOD MUSIC PLAY がインストールされているとき

# Bluetooth® 機器を使う

## Bluetooth — 携帯電話






### 電話を受ける

電話がかかって来ると、

- すべてのボタンとディスプレイが点滅します。
- “AUTO ANSWER” で時間設定がされているときは、自動的に電話を受けます (➔16)。

通話中は、



- “DISPLAY” (➔21) で設定した色でボタンとディスプレイが点灯します。
- 本機の電源を切ったり、操作パネルを取り外すと、本機では通話ができなくなります。

| 動作                                     | 操作パネル  | リモコン  |
|--|--|---|
| 電話を受ける                                 | [  ], [FNC] ノブ、または数字ボタン [1] ~ [6] を押す。  | [  ] を押す |
| 着信を拒否する                                | [  SRC] を押す   | [  ] を押す |
| 通話を終了する                                | [  ] または [  SRC] を押す | [  ] を押す |
| 受話音量を調節する *<br>“00 ~ 35” (初期設定 : “15”) | 通話中に [FNC] ノブを回す。<br>・ここで調節する音量は、他の音源の音量調節には影響しません。  | —   |
| 普通通話モードとハンズフリー通話を切り替える                 | 通話中に [6▶  ] を押す。<br>・接続されている Bluetooth 機器によっては、操作方法が変わることがあります。  | —   |

\* この機能は iPhone のときは使えません。通話中、本機は iPhone の音量と同じになります。

### 通話中の音声を調節する

通話中に、



- 1 [FNC] ノブを押して “FUNCTION” モードに入る
- 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す (下表参照)
- 3 手順 2 をくり返し、項目を選び、設定する  
[ / ] を押すと、前の設定項目に戻ります。

初期設定 : **XX**

|             |  |
|-------------|--|
| MIC GAIN    | -10 ~ +10 (0) : 数値が大きくなるほどマイクの感度が高くなります。 |
| NR LEVEL    | -5 ~ +5 (0) : 通話中の雑音が低減するように調節します。       |
| ECHO CANCEL | -5 ~ +5 (0) : 通話時のエコーを低減するように調整します。      |

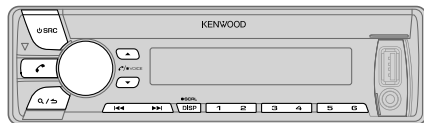
# Bluetooth® 機器を使う

## 電話を受けるための設定をする

- 1 [  ] を押す  
Bluetooth モードに入ります。
- 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す（下表参照）
- 3 手順 2 をくり返し、項目を選び、設定する  
[  ] を押すと、前の設定項目に戻ります。



初期設定 :XX





| SETTINGS    |   |
|-------------|---|
| AUTO ANSWER | 1 ~ 30 : 電話がかかって来たら設定した時間（秒）が経過すると、自動的に電話を受けます。 <b>OFF</b> : この機能を使いません。  |
| BATT/SIGNAL | <b>AUTO</b> : 接続されている Bluetooth 機器のバッテリーの残量と受信電波の強さを本機のディスプレイに表示します。<br><b>OFF</b> : この機能を使いません。本機のディスプレイには時刻（時計）が表示されます。 |



## 電話をかける

電話番号をダイヤルするだけでなく、履歴や電話帳を使い電話をかけることができます。音声認識機能のついた携帯電話をお使いのときは、音声で電話をかけることもできます。

- 1 [  ] を押す  
Bluetooth モードに入ります。
- 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す（下表参照）
- 3 手順 2 で選んだ項目の下表中の指示に従って操作する  
[  ] を押すと、前の設定項目に戻ります。

|              |   |
|--------------|---|
| CALL HISTORY | <ol style="list-style-type: none"><li>1 [FNC] ノブをくり返し押して「名前」もしくは「電話番号」を選ぶ<ul style="list-style-type: none"><li>・「INCOMING」（着信）、「OUTGOING」（発信）、「MISSED」（未受信）の履歴タイプがディスプレイ下部に表示されます。</li><li>・ [ <b>DISP SCRL</b> ] を押して「名前」表示か「電話番号」表示かを切り替えます。</li><li>・ 履歴が記録されていないときは、「NO DATA」と表示されます。</li></ul></li><li>2 [FNC] ノブを押して電話をかける</li></ol>  |
| PHONE BOOK   | <ol style="list-style-type: none"><li>1 [FNC] ノブを素早く回す<br/>電話帳検索モードになります。「A」～「K」までの文字がディスプレイに表示されます。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「K」以降の文字列（「L」～「V」、「W」～「1,*」）を表示するには、[  /  ] を押します。</li><li>・ 「名前」の最初の文字を選ぶには、[FNC] ノブを回すか、[  /  ] を押して [FNC] ノブを押します。<ul style="list-style-type: none"><li>- 数字で始まる「名前」を選ぶときは、「1」を選びます。</li><li>- 記号で始まる「名前」を選ぶときは、「*」を選びます。</li></ul></li></ul></li><li>2 電話をかけたい人の名前を選ぶ</li><li>3 [FNC] ノブを回して電話番号を選び、[FNC] ノブを押して電話をかける</li></ol> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ご使用の電話が PBAP に対応しているときは、ペアリング時に接続された携帯電話の電話帳が自動的に本機に転送されます。</li><li>・ 連絡先は次のように分けられます :HOME (自宅)、OFFICE (会社)、MOBILE (携帯)、OTHER (その他)、GENERAL (一般)</li><li>・ 電話帳は標準的なアルファベットのみを表示できます。アクセント記号付きの文字は表示できません。</li></ul> |



## Bluetooth® 機器を使う

|             |  |
|-------------|--|
| NUMBER DIAL | <ol style="list-style-type: none"><li>[FNC] ノブを回して、“0”～“9”の番号か、“*”、“#、+”の記号を選ぶ</li><li>[◀▶/▶▶] を押して入力的位置を移動する<br/>電話番号を入力し終わるまで、手順 1 と手順 2 をくり返します。</li><li>[FNC] ノブを押して、電話をかける<br/>(リモコンを使うとき)</li></ol> <ol style="list-style-type: none"><li>“0”～“9”の数字ボタンを押して、電話番号を入力する</li><li>[📞] を押して電話をかける</li></ol> |
| VOICE       | 電話をかけたい相手の名前を言う<br>ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。<br>(⇒音声認識で電話をかける)   |
| BATT*       | LOW/MID/FULL：電池の残量を表します。   |
| SIGNAL*     | NO SIGNAL/LOW/MID/MAX：現在受信している信号の強さを表します。  |

\* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

### ■ 音声認識で電話をかける

- [📞] を押し続ける  
接続されている携帯電話が発信できるようになります。
  - 電話をかけたい相手の名前を言う  
ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。
- 対応している音声認識は携帯電話によって違います。詳しくはご使用の Bluetooth 機器の説明書をご覧ください。
  - 本機は iPhone インテリジェントパーソナルアシスタントにも対応しています。

### 履歴を消去する

- [📞] を押す  
Bluetooth モードに入ります。
  - [FNC] ノブを回して“CALL HISTORY”を選び、[FNC] ノブを押す
  - [FNC] ノブを回して消去したい連絡先を選び
  - [FNC] ノブを押し続ける  
連絡先が消去できるようになります。
  - [FNC] ノブを回して“DELETE ONE”または“DELETE ALL”を選び、[FNC] ノブを押す  
DELETE ONE：手順 3 で選んだ連絡先を消去します。  
DELETE ALL：手順 2 で選んだ“CALL HISTORY”すべての連絡先を消去します。
  - [FNC] ノブを回して“YES”を選び、[FNC] ノブを押す
- [Q/➡] を押すと、前の設定項目に戻ります。
  - PBAP に対応している携帯電話には使えません。

### メモリの設定

#### ■ 連絡先を登録する

連絡先を数字ボタン ([1]～[6]) で登録をする

- [📞] を押す  
Bluetooth モードに入ります。
- [FNC] ノブを回して“CALL HISTORY”、“PHONE BOOK”または“NUMBER DIAL”を選び、[FNC] ノブを押す
- [FNC] ノブを回して登録した連絡先を選ぶか、電話番号を入力する  
連絡先を選んだ後で、[FNC] ノブを押して電話番号を表示させて確認することができます。
- 連絡先を登録する数字ボタン ([1] から [6]) を押し続ける  
連絡先が登録されると“STORED”というメッセージが表示されます。

登録した連絡先を数字ボタンから消去するには、手順 2 で“NUMBER DIAL”を選び、手順 3 で空番号を入力します。

#### ■ 数字ボタンで電話をかける

- [📞] を押す  
Bluetooth モードに入ります。
- 数字ボタン ([1]～[6]) を押す
- [FNC] ノブを押して電話をかける  
押した数字ボタンに連絡先が登録されていないときは、“NO MEMORY”というメッセージが表示されます。

# Bluetooth® 機器を使う

## その他の設定をする

- 1 [FNC] ノブを押して“FUNCTION”モードに入る
  - 2 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す（下表参照）
  - 3 手順 2 で選んだ項目の下表中の指示に従って操作する
- [ Q / ⏪ ] を押すと、前の設定項目に戻ります。


初期設定 : **XX**

| BT MODE                 |  |
|-------------------------|--|
| PHONE SELECT            | 接続または切断する携帯電話またはオーディオ機器を選びます。<br>接続されると、機器名の前に“*”が表示されます。  |
| AUDIO SELECT            | • 接続されている Bluetooth 機器を切断してからでないと他の Bluetooth 機器は接続できません。<br>切断されると、“*”の表示が消えます。   |
| DEVICE DELETE           | 1 [FNC] ノブを回して削除する機器を選び、[FNC] ノブを押す<br>2 [FNC] ノブを回して、“YES”または“NO”を選び、[FNC] ノブを押す  |
| PIN CODE EDIT<br>(0000) | PIN コードを変更します（6桁まで）。<br>1 [FNC] ノブを回して最初の数字を選ぶ<br>2 [◀/▶] を押して入力的位置を移動する<br>PIN コードを入力し終わるまで、手順 1 と手順 2 をくり返します。<br>3 [FNC] ノブを押して確定する |
| RECONNECT               | <b>ON</b> : 最後に接続された Bluetooth 機器が感知範囲内に入ると自動的に再接続します。<br><b>OFF</b> : この機能を使いません。   |
| AUTO PAIRING            | <b>ON</b> : iPhone/iPod touch/Android 機器が、USB 端子に接続された場合に自動的にペアリングします。接続された機器の OS によっては、この機能は動かないことがあります。<br><b>OFF</b> : この機能を使いません。  |
| INITIALIZE              | <b>YES</b> : Bluetooth の全設定（登録されたペアリング、電話帳など）を初期化します。<br><b>NO</b> : この機能を使いません。   |

## Bluetooth テストモード


本機と Bluetooth 機器間で使用できるプロフィールを確認できます。

- Bluetooth 機器がペアリングされていないことを確認してください。

- 1 [  ] を押し続ける  
“PLEASE PAIR YOUR PHONE PIN 0000”  
(電話をペアリングしてください PIN 0000) というメッセージが表示されます。
- 2 Bluetooth 機器で本機名称 (U4\*\*BT) を探して選ぶ
- 3 Bluetooth 機器を操作してペアリングを始める  
本機のディスプレイ上に“TESTING” (テスト中) のメッセージが点滅します。

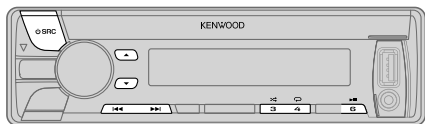
テスト終了後、以下の項目が“OK”または“NG”で判定されます。

- PAIRING : ペアリングが可能かどうか。  
HF CNT : ハンズフリー通話が対応しているか。  
AUD CNT : オーディオ機器として A2DP プロファイルに対応しているか。  
PB DL : 電話帳転送のための PBAP プロファイルに対応しているか。

テストモードを終了するには、[  SRC ] を押し続けて本機の電源をオフにします。

## Bluetooth® 機器を使う

### Bluetooth — オーディオ



### オーディオ機器を聞く

- 1 [ **SRC** ] (またはリモコンの [ **SRC** ]) をくり返し押して、“BT AUDIO” を選ぶ
- 2 Bluetooth オーディオ機器を再生する

| 動作            | 操作パネル   | リモコン                       |
|---------------|---|----------------------------|
| 再生 / 一時停止をする  | [ <b>6▶  </b> ] を押す   | [ <b>ENT▶  </b> ] を押す      |
| グループまたはフォルダ選ぶ | [ <b>▲/▼</b> ] を押す  | [ <b>#FM+ / *AM-</b> ] を押す |
| 曲 / ファイルを選ぶ   | [ <b>◀▶</b> ] を押す   | [ <b>◀▶(+)</b> ] を押す       |
| 早戻し / 早送りをする  | [ <b>◀▶</b> ] を押し続ける  | [ <b>◀▶(+)</b> ] を押し続ける。   |
| リピート再生をする     | [ <b>4↻</b> ] をくり返し押す<br>“ALL REPEAT”、“FILE REPEAT”、“REPEAT OFF”                              | —                          |
| ランダム再生をする     | [ <b>3⇄</b> ] をくり返し押す<br>“FOLDER RANDOM”、“RANDOM OFF”<br>[ <b>3⇄</b> ] を押し続け、“ALL RANDOM”を選ぶ。 | —                          |

接続された機器により、操作やディスプレイの表示が異なることがあります。

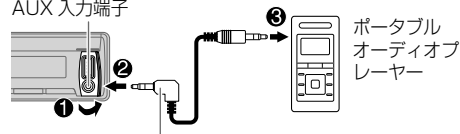
## 外部接続機器を聞く

準備:

“BUILT-IN AUX” で “ON” を選びます ( → 10)。

### 再生する

- 1 ポータブルオーディオプレーヤー (市販品) を接続する  
AUX 入力端子



市販の L 字型コネクタのステレオミニプラグ  
(3.5 mm φ)

- 2 [ **SRC** ] をくり返し押して “AUX” を選ぶ
- 3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

### 外部機器の名前を設定する

本機に接続されているポータブルオーディオプレーヤーを聞いているときに、

- 1 [ **FNC** ] ノブを押して “FUNCTION” モードに入る
- 2 [ **FNC** ] ノブを回して “SYSTEM” を選び、[ **FNC** ] ノブを押す
- 3 [ **FNC** ] ノブを回して “AUX NAME SET” を選び、[ **FNC** ] ノブを押す
- 4 [ **FNC** ] ノブを回して次の名称から選び、[ **FNC** ] ノブを押す  
“AUX(初期設定)/DVD/PORTABLE/GAME/VIDEO/TV”  
[ **Q/↵** ] を押すと、前の設定項目に戻ります。

# 音質を設定する

音源を聞いているときに、

- 1 [FNC] ノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 [FNC] ノブを回して“AUDIO CONTROL”を選び、[FNC] ノブを押す
- 3 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す（下表参照）
- 4 手順 3 をくり返し、項目を選び、設定する

（リモコン操作）

- 1 [AUD] を押して“AUDIO CONTROL”モードに入る
- 2 [▲/▼] を押して設定した項目を選び、[ENT▶▶] を押す

[Q/↵] を押すと、前の設定項目に戻ります。

初期設定 :XX

|             |               |   |
|-------------|---------------|---|
| SUB-W LEVEL | -15 ~ +15 (0) | サブウーファアの音量を調節します。                                       |
| BASS LEVEL  | -8 ~ +8 (+6)  |   |
| MID LEVEL   | -8 ~ +8 (+5)  | 音源ごとに調節した音量を“dB EQ”の“USER”に記憶します（調節をする前に、調節したい音源を選びます）。 |
| TRE LEVEL   | -8 ~ +8 (0)   |   |
| EQ PRO      |               |   |
| BASS ADJUST | BASS CTR FRQ  | 60HZ、80HZ、100HZ、200HZ: 中心周波数を選びます。                      |
|             | BASS LEVEL    | -8 ~ +8 (+6): 音量を調節します。                                 |
|             | BASS Q FACTOR | 1.00/1.25/1.50/2.00: Q ファクター（先鋭度）を調節します。                |
|             | BASS EXTEND   | ON: 低音を響かせるバスエクステンド機能をオンにします。OFF: この機能を使いません。           |
| MID ADJUST  | MID CTR FRQ   | 0.5KHZ、1.0KHZ、1.5KHZ、2.5KHZ: 中心周波数を選びます。                |
|             | MID LEVEL     | -8 ~ +8 (+5): 音量を調節します。                                 |
|             | MID Q FACTOR  | 0.75/1.00/1.25: Q ファクター（先鋭度）を調節します。                     |
| TRE ADJUST  | TRE CTR FRQ   | 10.0KHZ、12.5KHZ、15.0KHZ、17.5KHZ: 中心周波数を選びます。            |
|             | TRE LEVEL     | -8 ~ +8 (0): 音量を調節します。                                  |

|               |   |
|---------------|---|
| dB EQ         | <b>DRIVE EQ/DANCE/POWERFUL/ROCK/VOCAL/EASY/JAZZ/NATURAL/USER</b> : 音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選びます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>DANCE/POWERFUL/ROCK/VOCAL/EASY</b> または <b>JAZZ</b> を選んだ場合、[◀◀/▶▶] を押して、“HI”または“LO”を選びます。</li><li>• <b>“USER”</b>: BASS LEVEL/MID LEVEL/TRE LEVEL で調節した値が呼び出されます。</li><li>• <b>“DRIVE EQ”</b> はロードノイズからの影響を軽減する音質設定です。</li></ul> |
| BASS BOOST    | <b>LEVEL1/LEVEL2/LEVEL3</b> : 低音を増強します。 <b>OFF</b> : この機能を使いません。  |
| LOUDNESS      | <b>LEVEL1/LEVEL2</b> : 小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。 <b>OFF</b> : この機能を使いません。   |
| SUBWOOFER SET | <b>ON</b> : サブウーファアをオンにします。 <b>OFF</b> : この機能を使いません。  |
| LPF SUBWOOFER | <b>THROUGH</b> : 全帯域のオーディオ信号がサブウーファアに出力されます。 <b>85HZ/120HZ/160HZ</b> : 周波数 85 Hz/120 Hz/160 Hz 以下のオーディオ信号がサブウーファアに出力されます。   |
| SUB-W PHASE   | <b>REVERSE(180°)/NORMAL(0°)</b> : サブウーファアの位相を設定します。（“LPF SUBWOOFER”で“THROUGH”以外の設定されているときのみ選べます）  |
| FADER         | <b>R15 ~ F15 (0)</b> : 前後の音量バランスを調節します。   |
| BALANCE       | <b>L15 ~ R15 (0)</b> : 左右の音量バランスを調節します。   |

## 音質を設定する

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| VOLUME OFFSET                        | AUX : -8 ~ +8 (0) ; その他 : -8 ~ 0 : 音源ごとの音量差を調節します (調節をする前に、調節したい音源を選びます)。 |
| SOUND RECNSTR (Sound reconstruction) | ON : 圧縮オーディオで失われた高音域成分を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。OFF : この機能を使いません。          |

- ・ "SWITCH PREOUT" の設定が "SUBWOOFER" のときのみ "SUB-W LEVEL / SUBWOOFER SET / LPF SUBWOOFER / SUB-W PHASE" を選べます (→ 10)。
- ・ "SUBWOOFER SET" が "ON" のときのみ、"SUB-W LEVEL / LPF SUBWOOFER / SUB-W PHASE" が選べます。

## ディスプレイ表示を設定する

- 1 [FNC] ノブを押して "FUNCTION" モードに入る
  - 2 [FNC] ノブを回して "DISPLAY" を選び、[FNC] ノブを押す
  - 3 [FNC] ノブを回して設定したい項目を選び、[FNC] ノブを押す (下表参照)
  - 4 手順 3 をくり返し項目を選んで決定する
- [Q/△] を押すと、前の設定項目に戻ります。

初期設定 : XX

|              |  |
|--------------|--|
| COLOR SELECT | VARIABLE SCAN / CUSTOM R/G/B / プリセット色 * : ボタンとディスプレイのイルミネーション色を設定します。<br><br>"CUSTOM R/G/B" もしくはプリセット色 * を選ぶと、好きな色に調整できます。自分で調整した色は "CUSTOM R/G/B" に登録されます。<br>1 [FNC] ノブを押し続ける<br>色の詳細調整ができるようになります。<br>2 [◀◀/▶▶] を押して、調整する色 (R/G/B 一赤 / 緑 / 青) を選ぶ<br>3 [FNC] ノブを回して選んだ色のレベル (0 ~ 9) を調整して、[FNC] ノブを押す |
| DIMMER       | ON : ディスプレイとボタンのイルミネーションが暗くなります。OFF : この機能を使いません。  |
| BRIGHTNESS   | 0 ~ 31 : ディスプレイとボタンのイルミネーションの明るさを設定します。  |
| TEXT SCROLL  | AUTO / ONCE : 自動的に表示情報を繰り返しスクロールするか、1 回スクロールするかを設定します。OFF : この機能を使いません。  |

\* プリセット色 : RED1 / RED2 / RED3 / PURPLE1 / PURPLE2 / PURPLE3 / PURPLE4 / BLUE1 / BLUE2 / BLUE3 / SKYBLUE1 / SKYBLUE2 / LIGHTBLUE / AQUA1 / AQUA2 / GREEN1 / GREEN2 / GREEN3 / YELLOWGREEN1 / YELLOWGREEN2 / YELLOW / ORANGE1 / ORANGE2 / ORANGERED

# 故障かな？と思ったら

| 症状   | 対処方法   |
|--|--|
| 音が出ない  | <ul style="list-style-type: none"> <li>音量を調節してください。</li> <li>接続コードや配線を確認してください。</li> </ul>           |
| "MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON" と表示される  | 電源をオフにして、スピーカーコードがショートしていないか確認してください。確認後、もう1度電源をオンにしてください。   |
| "PROTECTING SEND SERVICE" と表示される   | お近くの JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>音が出ない</li> <li>電源がオンにならない</li> <li>表示がおかしい</li> </ul> | コネクタ端子は柔らかい布で軽く拭いてください(➡5)。  |
| 本機が動作しない   | 本機をリセットしてください(➡9)。   |
| ラジオ <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオの感度が悪い</li> <li>ラジオに騒音が入る</li> </ul>           | アンテナをしっかりと接続してください。  |
| ディスクが取り出せない  | ディスクが完全に排出されるまで [▲] を押し続けてください。ディスクが排出されるときに、ディスクを落とさないように気をつけてください。それでも取り出せないときは、本機をリセットしてください(➡9)。 |
| 雑音が入る  | 他の曲にスキップするか、ディスクを取り替えてください。  |
| 思っていた順に曲が再生できない  | ファイルが保存された時点で再生の曲順が決まります。  |
| "READING" が点滅し続ける  | 収録されているデータのフォルダの階層が深いまたはフォルダ数が多い。  |
| 経過時間が正確でない   | 曲の録音の仕方によります。  |
| ディスプレイの表示が正確でない<br>(アルバム名など)   | 本機は英大文字と数字のみ表示可能です。  |

| 症状   | 対処方法   |
|--|--|
| "NA FILE"  | ディスクに対応するファイルが入っていることを確認してください(➡24)。   |
| "NO DISC"  | 再生可能なディスクを DISC 挿入口に入れてください。   |
| "TOC ERROR"  | ディスクのクリーニングをして、正しい向きで挿入し直してください。   |
| "PLEASE EJECT"   | 本機をリセットしてください。処置を施してもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。   |
| "READ ERROR"   | USB 機器のファイル、フォルダをコピーし直してください。それでもエラー表示が消えないときは、USB 機器をリセットするか、ほかの USB 機器を使用してください。   |
| "NO DEVICE"  | USB 機器を接続し、もう1度、音源を USB にしてください。   |
| "COPY PRO"   | ファイルはコピープロテクトされています。   |
| "NA DEVICE"  | 本機に対応している USB 機器をご使用し、接続されているかをご確認ください。  |
| "NO MUSIC"   | 再生可能なオーディオファイルが入った USB 機器を接続してください。  |
| "iPod ERROR"   | <ul style="list-style-type: none"> <li>iPod を接続し直してください。</li> <li>iPod をリセットしてください。</li> </ul>   |
| Android <ul style="list-style-type: none"> <li>音が出ない</li> <li>Android 機器からしか音が出ない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Android 機器を接続し直してください。</li> <li>"HAND MODE" のとき、Android 機器のメディアプレーヤーアプリケーションで再生してください。</li> <li>"HAND MODE" のとき、もう1度、使用中の Android 機器のメディアプレーヤーアプリケーションを使うか、他のメディアプレーヤーアプリケーションで再生してください。</li> <li>Android 機器を再起動してください。</li> <li>接続されている Android 機器から本機にオーディオ信号が送られていません(➡24)。</li> </ul> |

## 故障かな?と思ったら

| 症状         | 対処方法   |
|------------|--|
| Android    | <p>“BROWSE MODE”で再生できない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• KENWOOD MUSIC PLAY APP が Android 機器にインストールされているかを確認してください(➔13)。</li> <li>• Android 機器を再接続し、“ANDROID SETUP”で正しい設定に直してください(➔13)。</li> <li>• 接続されている Android 機器は、“BROWSE MODE”に対応していません(➔24)。</li> </ul> |
|            | <p>“NO DEVICE”または“READING”が点滅し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Android 機器のディベロッパーオプションをオフにしてください。</li> <li>• Android 機器を接続し直してください。</li> <li>• 接続されている Android 機器は、“BROWSE MODE”に対応していません(➔24)。</li> </ul>   |
|            | <p>再生時に音がとんだり、途切れたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Android 機器の節電モードをオフにしてください。</li> </ul>  |
| Bluetooth® | <p>“ANDROID ERROR/NA DEVICE”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Android 機器を接続し直してください。</li> <li>• Android 機器を再起動してください。</li> </ul>   |
|            | <p>Bluetooth 機器が検出されない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bluetooth 機器から、再度検出してください。</li> <li>• 本機をリセットしてください(➔9)。</li> </ul>  |
|            | <p>Bluetooth 機器とのペアリングができない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機と Bluetooth 機器に同じ PIN コードが入力されていることを確認してください。</li> <li>• 本機と Bluetooth 機器からペアリングの情報を削除し、もう1度、ペアリングを実行してください(➔14)。</li> </ul>  |
|            | <p>通話中にエコーがかかる、または雑音が入る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マイクの位置、角度を調整してください(➔14)。</li> <li>• “ECHO CANCEL”の設定を確認してください(➔15)。</li> </ul>  |
|            | <p>通話品質が悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bluetooth 機器を本機に近づけてください。</li> <li>• 車両を電波状況の良い場所に移動させてください。</li> </ul>  |

| 症状   | 対処方法  |
|--|---|
| Bluetooth®   | <p>音声やボイスコマンドが正しく認識されない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 静かな場所でマイクに向かって発声してください。</li> <li>• マイクの近くで「名前」を言ってください。</li> <li>• 音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。</li> </ul>   |
|  | <p>Bluetooth オーディオプレーヤーの再生中に音がとんだり、途切れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bluetooth 機器を本機に近づけてください。</li> <li>• 本機の電源をオフにして、またオンにして接続し直してください。</li> <li>• 他の Bluetooth 機器の電源をオフにするか Bluetooth 機器を遠ざけてください。</li> </ul>                     |
|  | <p>接続された Bluetooth オーディオプレーヤーが操作できない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続された Bluetooth 機器が Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) に対応するかを確認してください(ご使用のオーディオプレーヤーの説明書をご覧ください)。</li> <li>• Bluetooth オーディオプレーヤーを接続し直してください。</li> </ul> |
|  | <p>“DEVICE FULL”</p> <p>Bluetooth 機器をこれ以上登録できません。ご使用されていない機器を削除してから、やり直してください(➔18, 「DEVICE DELETE」)。</p>  |
|  | <p>“N/A VOICE TAG”</p> <p>音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。</p>  |
|  | <p>“NOT SUPPORT”</p> <p>携帯電話が音声認識に対応していません。</p>   |
|  | <p>“NO ENTRY”/<br/>“NO PAIR”</p> <p>登録済の機器が接続されていません。</p>   |
|  | <p>“ERROR”</p> <p>もう1度操作をしてください。“ERROR”がまた表示されたときは、ご使用の機器が使うとしている機能に対応しているか確認してください。</p>  |
| <p>“NO INFO”</p> <p>電話番号などの連絡先のデータがありません。</p>  |   |
| <p>“HF ERROR XX”/<br/>“BT ERROR”</p> <p>本機をリセットしてもう1度操作してください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</p> |   |

# その他の情報

## 一般

再生可能なオーディオファイルは下記 URL のオンラインマニュアルにてご確認ください。 <http://www2.jvckenwood.com/cs/car/>

## 再生できるファイル

- 再生可能なオーディオファイル：MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、AAC (.m4a)
  - 再生可能なディスクメディア：CD-R/CD-RW/CD-ROM
  - 再生可能なディスクファイルのフォーマット：ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Long file name
  - 再生可能な USB 機器ファイルシステム：FAT12、FAT16、FAT32
- オーディオファイルが上記に対応していても、メディアや機器のタイプや状況により再生できないことがあります。

## USB 機器について

- 本機は、マストレージクラス機器に保存された MP3、WMA、AAC、WAV ファイルが再生可能です。
- USB ハブを介して USB 機器を接続することはできません。
- 全長 5m 以上の USB ケーブルを使っているときは、再生不良の原因となります。
- 本機は消費電流が 5 V/1 A 以上の USB 機器は認識できません。

## KENWOOD Music Editor Light と KENWOOD Music Control について

- 本機は PC アプリケーション "KENWOOD Music Editor Light" と Android™ のアプリケーション "KENWOOD Music Control" に対応しています。
- "KENWOOD Music Editor Light" または "KENWOOD Music Control" を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、ジャンル、アーティスト名、アルバム名、プレイリスト、タイトルなどでの検索が可能になります。
- "KENWOOD Music Editor Light" および "KENWOOD Music Control" は下記 URL からダウンロードできます。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/car/>

## 本機で使える iPod/iPhone

Made for

- iPod touch (2nd, 3rd, 4th, and 5th generation)
- iPod classic
- iPod nano (3rd, 4th, 5th, 6th, and 7th generation)
- iPhone 3G、3GS、4、4S、5、5S、5C
- 最新の情報、iPhone/iPod のソフトウェアのバージョンについては下記 URL をご覧ください。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/car/>
- iPod に "KENWOOD" または "✓" と表示されているときは、iPod の操作はできません。

## 本機で使える Android 機器

- 本機は Android OS 4.1 以降に対応しています。
- ただし、Android 機器によっては OS が 4.1 以降であっても、AOA 2.0 に対応していないことがあります。
- ご使用の Android 機器がマストレージクラス機器と AOA 2.0 の両方に対応しているとき、優先的に AOA 2.0 で再生されます。
- 最新の対応状況のリストについて詳しくは下記をご覧ください。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/car/>

## 本機とペアリングできる Bluetooth 機器

- Bluetooth のバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できないことがあります。
- 周囲環境により、接続環境も変わります。
- 詳しくは下記 URL をご覧ください：  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/car/>



# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

## ■ 保証について

### 保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## ■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

・ ホームページ

<http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html>

・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHSからは 045-450-8950

（受付時間などは裏表紙を参照してください。）

## ■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(▶22) または当社ホームページのFAQを参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・ 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- ・ 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

## 基本的な手順




- 1 エンジンキーを抜き、バッテリーの ⊖ 端子を外す
- 2 各ワイヤーを正しく接続する  
「配線の仕方」(→27)をご覧ください。
- 3 本機を車両に取り付ける  
「本機を取り付ける(インダッシュの取り付け)」  
をご覧ください。
- 4 取り付け終了後にバッテリーの ⊖ 端子を接続する
- 5 本機のリセットボタンを押す(→9)

## 取り付けについて

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使えば、ご使用のお車に最適な方法で取り付けができます。

- ・キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 付属ネジ

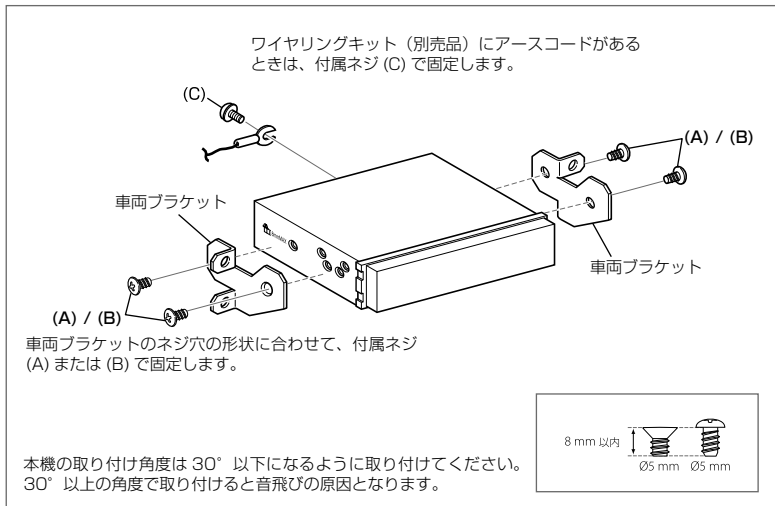
|     |   |   |    |
|-----|---|---|----|
| (A) |  | トラスネジ<br>( $\varnothing 5 \times 8$ mm) | 4本 |
| (B) |  | サラネジ<br>( $\varnothing 5 \times 8$ mm)  | 4本 |
| (C) |  | セムスネジ<br>(M4 × 8 mm)                    | 1本 |

## 本機を取り付ける(インダッシュの取り付け)

### △注意

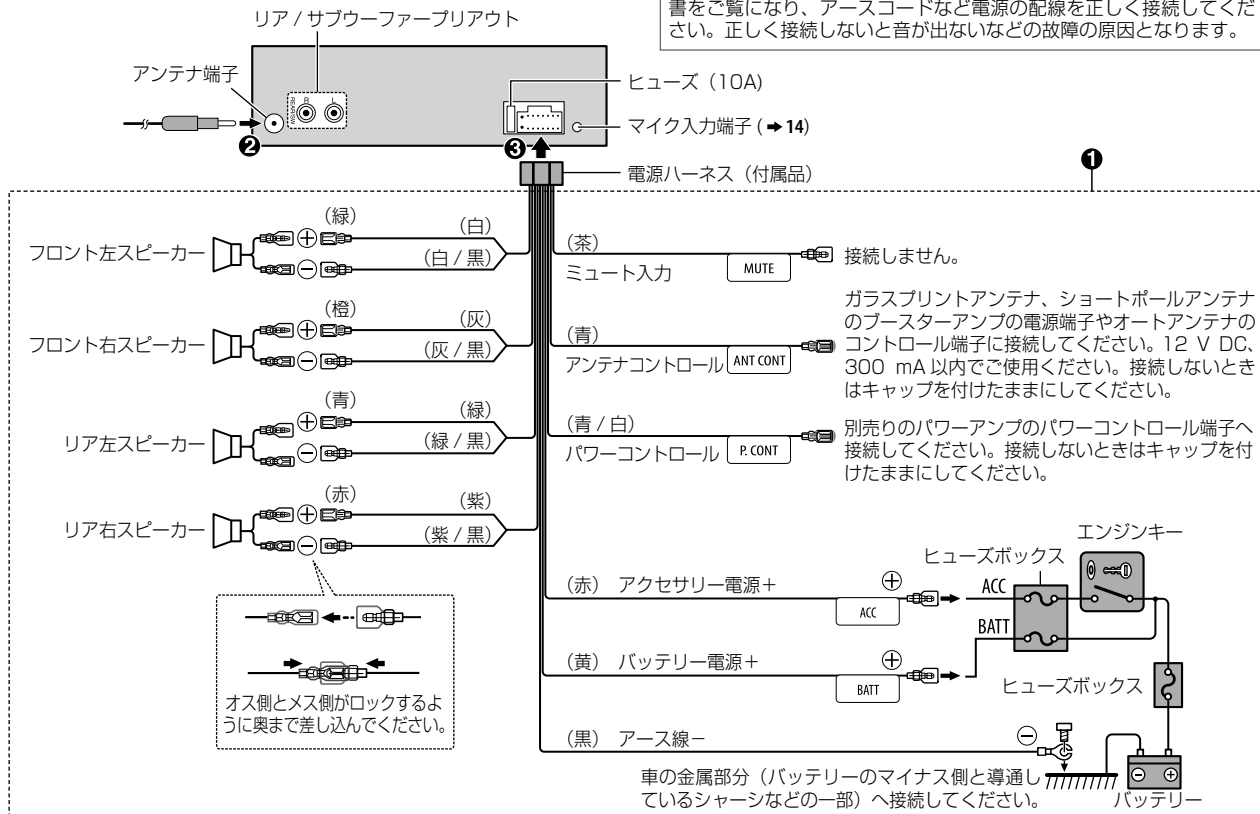
本機を取り付けの際には、必ず付属のネジをご使用ください。

- ・付属ネジより長いネジを使うと、本機内部を傷つけたり、火災になるおそれがあります。
- ・付属ネジより短いネジを使うと、本機が車両ブラケットから外れるおそれがあります。
- ・トラスネジとサラネジが付属されています。車両に合ったネジをお使いください。



## 配線の仕方

パワーアンプなどの周辺機器を接続するときは、周辺機器の取扱説明書をご覧になり、アースコードなど電源の配線を正しく接続してください。正しく接続しないと音が出ないなどの故障の原因となります。



# 仕様

## チューナー部

### FM チューナー部

|                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 受信周波数範囲               | 76.0 MHz ~ 99.0 MHz<br>(100 kHz)    |
| 実用感度<br>(S/N : 26 dB) | 8.2 dBf (0.71 $\mu$ V/75 $\Omega$ ) |
| DIN S/N 46 dB<br>感度   | 17.2 dBf (2.0 $\mu$ V/75 $\Omega$ ) |
| 周波数特性                 | 30 Hz ~ 15 kHz ( $\pm$ 3 dB)        |
| S/N 比                 | 64 dB (MONO)                        |
| ステレオセパレーション           | 40 dB (1 kHz)                       |

### AM チューナー部

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 受信周波数範囲 | 522 kHz ~ 1 629 kHz<br>(9 kHz) |
| 感度      | 29 dB $\mu$ (28.2 $\mu$ V)     |

## CD プレーヤー部

|                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| レーザーダイオード       | GaAlAs                       |
| デジタルフィルター (D/A) | 8 倍オーバーサンプリング                |
| 回転数             | 500 rpm ~ 200 rpm (線速度一定)    |
| ワウ & フラッター      | 測定限界以下                       |
| 周波数特性           | 20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm$ 1 dB) |
| 高調波歪み率          | 0.01% (1 kHz)                |
| S/N 比           | 105 dB (1 kHz)               |
| ダイナミックレンジ       | 90 dB                        |
| チャンネルセパレーション    | 85 dB                        |
| MP3 デコード        | MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠    |
| WMA デコード        | Windows Media Audio 準拠       |
| AAC デコード        | AAC-LC ".m4a" ファイル           |

## USB 部

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| USB 規格   | USB 1.1, USB 2.0 (Full speed) |
| ファイルシステム | FAT12/16/32                   |
| 最大供給電流   | DC 5 V $\equiv$ 1 A           |
| MP3 デコード | MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠     |
| WMA デコード | Windows Media Audio 準拠        |
| AAC デコード | AAC-LC ".m4a" ファイル            |
| WAV デコード | Linear-PCM                    |

## Bluetooth 部

|        |   |
|--------|---|
| 規格     | Bluetooth Ver.2.1+EDR/<br>Bluetooth 3.0   |
| 周波数    | 2.402 GHz ~ 2.480 GHz   |
| 出力     | +4 dBm (最大)、0 dBm (平均)<br>パワークラス 2  |
| 最大通信距離 | 約 10 m  |
| プロファイル | HFP (Hands-Free Profile)<br>SPP (Serial Port Profile)<br>PBAP (Phonebook Access<br>Profile)<br>A2DP (Advanced Audio<br>Distribution Profile)<br>AVRCP (Audio/Video Remote<br>Control Profile) |

## AUX 入力

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 周波数特性     | 20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm$ 3 dB) |
| 入力最大電圧    | 1 000 mV                     |
| 入力インピーダンス | 30 k $\Omega$                |

## 仕様

|              |                       |                                    |                 |
|--------------|-----------------------|------------------------------------|-----------------|
| オーディオ部       | 最大出力                  | 50 W × 4                           |                 |
|              | 定格出力                  | 30 W × 4<br>(4 Ω、1 kHz、10% THD 以下) |                 |
|              | スピーカーインピーダンス          | 4 Ω ~ 8 Ω                          |                 |
|              | オーディオコントロール           | バス                                 | 200 Hz ± 8 dB   |
|              |                       | ミドル                                | 2.5 kHz ± 8 dB  |
|              |                       | トレブル                               | 12.5 kHz ± 8 dB |
|              | プリアウトレベル (CD)         | 2 500 mV/10 k Ω                    |                 |
| プリアウトインピーダンス | ≤ 600 Ω               |                                    |                 |
| 電源部<br>その他   | 電源電圧                  | 14.4 V (10.5 V ~ 16 V)             |                 |
|              | 最大消費電流                | 10 A                               |                 |
|              | 使用温度範囲                | 0° C ~ +40° C                      |                 |
|              | 埋込寸法<br>(幅 × 高さ × 奥行) | 178 mm × 50 mm × 158 mm            |                 |
|              | 質量 (重さ)               | 1.2 kg                             |                 |

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変わる場合があります。

- “Made for iPod,” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Lightning is a trademark of Apple Inc.
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- Android is trademark of Google Inc.
- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。他の商標、商号はそれぞれの所有者のもです。
- © 2013 CSR plc and its group companies. The aptX® mark and the aptX logo are trade marks of CSR plc or one of its group companies and may be registered in one or more jurisdictions.

---

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
フリーダイヤル 0120-2727-87 (携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950)  
FAX 045-450-2308  
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00  
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html>) または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。